

税の仕組み、使い道考えた

南富良野 中高生一緒に教室

【南富良野】税の仕組みを学ぶ租税教室が南富良野中で開かれた。生徒は国の「未来の財政案」をテーマに、歳入や歳出

のあり方について話し合った。

富良野税務署の小泉佳織さんが講師を務め、3年生を対象に19日に実施



グループで国の財政のあり方について考える生徒たち

した。南富良野高の3年生も加わり、計18人でグループに分かれ、教育費、防衛費、消費税などの項目を検討。税の使い道や財源について、それぞれ増減させた際のメリットやデメリットを考え、発表した。

小泉さんは「防衛費を増やすと災害対応をしやすい」「教育費を増やすことで少子化改善につながる可能性がある」と説明。消費税を減らす案については「消費者の負担が減る一方で、基幹税の税収が減る面もある」と補足した。

南富良野中3年の秋田美優さん(15)は「救急車の利用が有料の国もあると聞き驚いた。緊急時に誰でも乗れるよう無料のままがいいと思った」と振り返った。(川上舞)